



広報

川西

豊穣の秋本番

第138号

2017.10.10
発行

川西自治会館
川西自治連合会
TEL 69-2526

収穫の秋を迎えて

豊穣の秋、収穫の秋、実りの秋。秋は米作りにとって喜びの季節です。川西地区にもそんな秋が訪れています。

農業法人の設立で昔とは収穫の形が変わりましたが、その喜びは変わるものではありません。

川西郷土史研究会発行の「川西村史」によると昭和10年には、農家戸数552戸、耕作田面積325町4反とあります。一戸当たりの耕作面積は、5反6畝と多くはないのですが、それぞれの農地で米作りが行われていました。しかし、社会環境の変化で、集約化によるコメ作りという方法に頼らざるを得なくなりました。写真は、「あきろまん」の収穫の様子です。現在川西では、「あきろまん」の他、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」「恋の予感」「新千本」などの品種があるのですが、どんな品種でも郷土の田んぼで収穫されたおいしいお米です。味わっていただきたいものです。

さて、収穫といえはその喜びと感謝の気持ちから生まれた秋祭りを忘れることはできません。今年も五町それぞれ開催されるようです。また、農民文化祭を歴史とする「ふれあいまつり」も行います。時代とともに収穫の形は変わっても、先人の残してくれた田んぼを景観とともにいつまでも守っていききたいものです。



海渡町	三若町
上田町	石原町
有原町	

ご長寿 おめでとうございます

石原町 9月17日（日）、三若町・海渡町・有原町 9月18日（月）、上田町 10月1日（日）、それぞれの町内会で敬老会が行われました。今年度の対象者は、251名。ご長寿誠におめでとうございます。そして、これからの末永いご健康を心からお祈りいたします。

私たちがこうやって豊かに楽しく生活できますのも、戦前・戦中・戦後と激動の時代にもかかわらず地域社会を豊かに築いてこられた皆様のおかげと深く感謝いたします。さて、広報誌面でのお祝いですので、これからの人生のための10か条を送ります。と言いましても医師（元外務省医務官）であり作家の久家義之氏考案によるものです。

- 一、期待しない、無理をしない。
↓ あるがままを喜ぶ。
- 二、油断しない、心配しない。
↓ なるようになるかと覚悟をきめる。
- 三、問題の解決に執着しない。
↓ 「まあ、いいや」の精神を持つ。
- 四、メディア美談を信じない。
↓ 美談その後を考える。
- 五、ぜいたくしない。節約しない。
↓ たまにばつと使う。
- 六、健康法や医療情報にとらわれない。
↓ 好きに生きる。
- 七、元気老人に惑わされない。
↓ 自分には自分の老いがあると心得る。
- 八、生涯現役なんて欲深いことは言わない。
↓ 潔く隠居する。
- 九、家で死にたければ、病院に近寄らない。
↓ 自然の効用を信用する。
- 十、こんな十個条みたいなのは、信用しない。

平成29年度 総合防災訓練に参加

10月1日（日）川西自主防災会として9名が総合防災訓練に参加しました。

この総合防災訓練は、広島県防災会議が主催するもので、82機関1288名参加の大変大掛かりなものでした。

訓練実施本部長である湯崎広島県知事の挨拶号令の下、三次親水公園等4会場で様々な訓練が展開されました。川西自主防災参加者は、避難者となつて親水公園から十日市中学校に避難する役目でした。

県内各機関からの車両やヘリコプターなど総出動しての訓練ですので、やや緊張気味でしたが、無事役目を果たし訓練を終了することができました。

今年も九州北部を中心とした豪雨や、9月の台風18号による被害など毎年各地で災害が発生しています。今回の訓練に参加して、様々な機関のたゆまぬ訓練がいざという時の安心を提供してくださっていることも感じ取ることができました。

9月の広報川西にも書きましたが、自助・共助・公助の大切さを改めて知る機会となりました。



赤い羽根共同募金について

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まっています。協力よろしくお願いいたします。

昨年度の場合、皆様の募金から地域助成として一一三〇〇〇円、川西に交付していただき、独居老人懇談会や寝たきり老人介護者の集い等に活用されました。

地区内一斉清掃



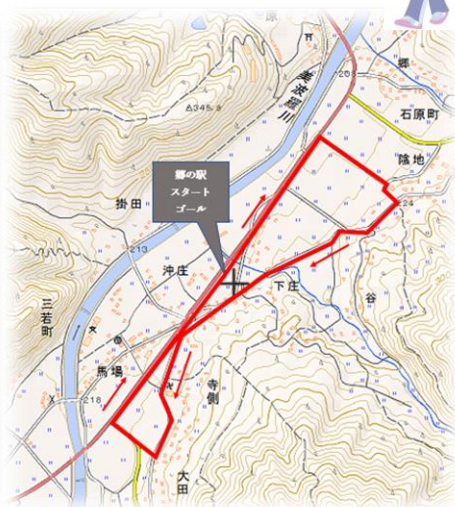
公衆衛生推進協議会では、例年のように10月最終日曜日を基準に、地区内の一斉清掃を行います。各常会の皆さま、よろしく願います。

地域ウォーキング



次の通り地域ウォーキングを行います。ウォーキングは、だれでもすぐに行ける運動です。お誘いあわせの上で参加ください。

期 日 10月28日（土）
集合時刻 9時50分
集合場所 川西郷の駅
コース 下地図 3500m
持ち物 飲み物・タオル等



ふれあいまつり 乞うご期待

来る11月19日（日）第69回ふれあいまつりを行います。詳細は、11月になってからお知らせいたしますが、今回もステージ・ブース・展示の3部門で楽しく有意義な内容にしていきたいと思いますのでどうかお楽しみに。

お知らせ

地域づくり懇談会

10月20日（金） 19時より
自治会館2階講座室

議会報告・懇談会

11月6日（月） 19時より
自治会館2階講座室

多数おいでください。

アンケート結果から

昨年度、実施させていただきましたアンケートの集計ができました。724名の方から回答をいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。設問によっては、重複回答や無回答がありましたので、合計が回答数と一致しないところはありますが、現在の住民の意識や傾向はみることができま

す。今回のアンケートでは、特に①地域内交通に関する項目、②健康の維持管理に関する項目、③体験交流に関する項目について調査するものでした。

これらの項目は、郷の駅のオーブンと密接に関連しています。結果の分析は十分できていませんが、この結果を参考にして自治連合会の活動に反映させていきたいと思っています。

さて、それぞれの項目についてみていきましょう。この分析は、9月の里づくり委員会が出された意見をもとにしています。

地域内交通に関する項目

運転免許のない人が約2割いるにもかかわらず、地区内、地区外ともに移動方法は、ほとんどが自家用車（自分

で運転・同乗する）によるもので、公共交通（バス）の利用は非常に少ない。

また、送迎等の交通システムに対する要望も多いとは言えない。アンケートの回答時点の意識と数年後の意識は変わるのだろうか。そういったことも含めて研究する必要がある。

健康の維持管理に関する項目

健康に対する不安をお持ちの方は多い。そのため、生活習慣や食生活を気にしている人も多い。しかし、健康講座とか運動教室などの活動に対してはやや消極的である。積極的に参加してもらえらるような取り組み方法があるのではないだろうか。また、常会レベルでの助け合いも重要になってくるのではないだろうか。

そんなところを研究してみる必要があるだろう。

体験交流に関する項目

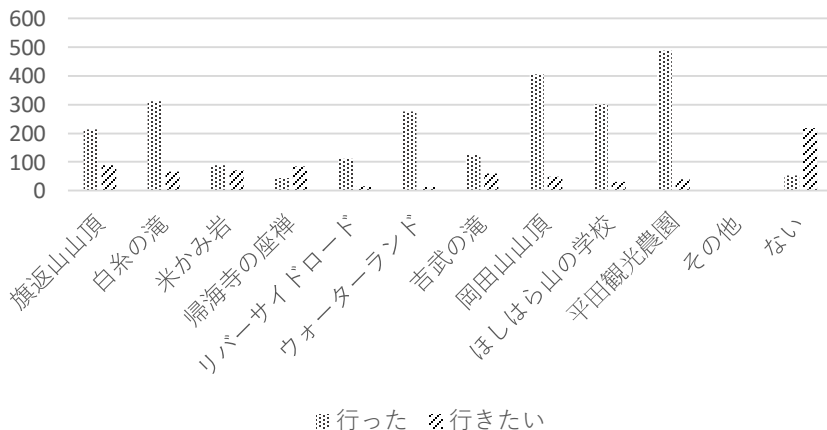
民泊として自分の家を提供してもいいと考えている人が、31人もおり関心が高いことがうかがえる。民泊が増えると交流が深まり地域が知られる。また、体験活動の分業や食事の手伝い等もできるようになる。

このような好循環が民泊のハードル

を下げることにつながる。地域資源の活用についてみると、「行ってみたい・余裕があれば参加する」層がある一定数あるので、ここら

を开拓していきたい。この紙面には掲載していませんが、自由記述の意見もあります。今後、それらを読み取り、さらに研究していきたいと思

川西の地域資源



アンケート集計結果

基本項目		
質問1 性別は		
男	332	
女	363	

質問2 年齢は		
10代	17	
20代	28	
30代	33	
40代	61	
50代	97	
60～64歳	87	
65～69歳	102	
70～74歳	54	
75歳以上	226	

質問3 住所は		
三若町	217	
海渡町	113	
石原町	141	
上田町	139	
有原町	93	

質問4 同居人数は		
1人	80	
2人	188	
3人	176	
4人以上	254	

質問5 いつから川西に		
ずっと	229	
帰郷した	136	
結婚	259	
転入	65	

質問6 職業は		
農林業	132	
自営業	42	
会社等	189	
無職	238	
学生	18	
その他	46	

質問7 なぜ川西に		
家・土地	393	
農業・自営業	67	
親の定住地	180	
夫妻の定住地	200	
農村が好き	51	
人情豊か	35	
生活にベスト	15	
仕事にベスト	30	
家庭菜園等	56	
自然環境	100	
慣れ親しんだ	138	
今更移れない	111	
その他	7	

具体項目（移動手段）		
質問8 運転免許の有無		
ある	565	
ない	130	

質問9 地区外への主な移動手段は		
徒歩	6	
電動カー	0	
自転車	14	
バイク	1	
自動車（自分）	448	
自動車（同乗）	104	
バス	17	
タクシー	0	

質問10 地区内での主な交通手段		
徒歩	58	
電動カー	1	
自転車	21	
バイク	4	
自動車（自分）	421	
自動車（同乗）	96	
バス	3	
タクシー	0	

質問11 送迎者の利用は		
利用する	155	
有料での利用する	16	
利用しない	418	



具体項目（健康づくり）		
質問12 健康の不安を		
感じたことがない	191	
感じている	497	

質問13 かかりつけの医療機関は		
ある	528	
ない	180	

質問14 質問13「ある」の医療機関は		
内科	449	
整形外科	117	
産科	32	
眼科	104	
耳鼻咽喉科	56	
その他	12	

質問15 気になる生活習慣病は		
高血圧	292	
糖尿病	143	
高脂血症	118	
肥満	118	
なし	190	

質問16 運動の習慣化		
ウォーキング	182	
スポーツサークル	47	
その他	95	

質問17 食生活で気にしていること		
塩分・糖分・脂質	293	
3食きちんと	386	
バランス	340	
その他	7	
気にしていない	152	

質問18 生活習慣		
禁煙・適性飲酒	132	
休養・睡眠	329	
外に出る	245	
その他	4	
特になし	187	

質問19 健康づくり教室		
参加したい	107	
気が向けば	310	
参加しない	263	

質問20 運動・スポーツ		
参加したい	121	
気が向けば	320	
参加しない	230	



体験交流について		
質問21 やってみたいこと		
自家の提供	31	
農作業体験提供	33	
盆栽・花の育て方	10	
工芸品・おもちゃづくり	9	
地域食材料理	18	
昔の遊び	18	
自然案内	26	
歴史案内	13	
昔話	8	
裏方	114	
その他	3	
特になし	368	

質問22 自家提供可能の方で		
ア 受け入れ人数		
1人	10	
2人	21	
3人	10	
4人以上	2	

イ 受け入れ構成		
大人のみ	21	
家族	23	
小中高生・大学生	19	

ウ 宿泊受け入れ		
宿泊可能	24	
日帰りのみ	10	
すでにしている	7	

エ 宿泊数		
1泊	21	
2泊	6	
3泊	1	
4泊以上	6	

質問23	川西の地域資源	行った	行きたい
質問24 旗返山山頂			
		214	88
	白糸の滝	311	67
	米かみ岩	89	72
	帰海寺の座禅	45	84
	リバーサイドロード	112	15
	ウォーターランド	276	12
	吉武の滝	125	60
	岡田山山頂	404	48
	ほしはら山の学校	300	30
	平田観光農園	487	39
	その他	3	2
	ない	53	218

質問25 体験講座があれば行ってみたいか		
行ってみたい	34	
余裕があれば参加する	278	
子や孫に体験させたい	33	
参加できない	193	

第3回シルバー学級

10月3日(火)「おかちゃんと歩く マッターホルン」と題して3回目のシルバー学級を開講しました。今回講師としてお招きした岡谷良信さんは海渡町出身の方です。山と出会ってから繰り広げられてきた人生のドラマをお話してくださいました。

左の写真をご覧ください。天に突き刺さるようにそびえるこの山は、スイスとイタリアの国境にあるマッターホルンです。4478mもあるアルプスを代表する山なのですが、岡谷さんはこの山に20時間(登り8時間、下り12時間)かけて登られたのです。しかも、ガイド無しです。

さて、こんな岡谷さんですが、若いときはどんな人だったのでしょうか。会社で初めて行った四国の亀ヶ森という山では、体力がないことを痛感したそうです。また、ある時、会社で穂



上の写真提供 岡谷良信さん



高へのツアーに申し込んだところ、「体力がないから連れていけない。」と言われたそうです。岡谷さんは、このことであきらめるのではなく、この言葉をばねに「山に登れるようになる。」と決意したそうです。人生どこにどんなきっかけがあるかわかりません。しかも、ハイキングやトレッキングだけではなく、クライミングも始めたそうです。クライミングとは、数十メートルもあるような岩壁をロープなどの道具を使って登る方法です。こんな冒険を繰り返しているうちに、山の楽しさにのめり込んで行かれたのです。

自分の足で歩くことにより、目標地点まで行って帰る喜びと同時に自然とのふれあいも大きな喜びとなっていました。山でしか出会えない小さな花たち。わずかな水と栄養で咲き誇る姿に感動を覚えずにはいられなかったのです。そうこうしているうちに還暦を迎えることになりました。この節目にと挑んだ山は、カザフスタンのクリュチェフ山(4750m)。世界へのチャレンジが始まりました。今回はマッターホルンのお話を中心でしたが、山への思いは、このように醸成されていたのだとわかりました。

これからマッターホルンのお話にしましょう。山容からもわかるようにとても厳しい山です。45度以上ある斜面を何回となく登らないと頂上にはたどり着けません。しかし、登る事よりも降りることがはるかに危険で難しいのだそうです。最初書いたように下りには12時間も費やしています。山登りとは、降りる時の体力を残すことが生死の分かれ目になるのだそうです。また、その体力や気象など様々な情報を判断する力、すなわち総合的な判断力が最も重要なことだと話されました。

そして迎えた古希では自転車による四国霊場巡りをされたそうです。八十八ヶ寺の中には、山を登ってたどり着く寺もあります。そんなときは、自転車を担いで登りそして降りて、とにかくあくなきチャレンジを今でもされているようです。

岡谷さんの生き方の中から、「人生とは、・・・。」色々考えさせられた2時間でした。そして、「これまで、とても充実した人生をおくるのが印象に残りました。」と笑顔で話された。

The sketches are organized as follows:

- Sketch 1 (Top Left):** A group of people with speech bubbles saying "アイディアを出す" (Come up with ideas). A label "地域社会" (Local community) is present.
- Sketch 2 (Top Row, Second):** The title "共創" (Co-creation) with the text "の時代を 迎えている といまます。" (We are welcoming the era of).
- Sketch 3 (Top Row, Third):** A timeline diagram showing the project's progress: 2006 (里づくりビジョン), 2010 (車どろ車月市 (お店や農家の閉店)), 2014 (会社設立 出資者募集 (GAP 開店)), and 2017 (7月オープン).
- Sketch 4 (Top Right):** A diagram showing the flow of support: "支援員" (Supporters) leading to "集落" (Village) and "かわにし" (Kawashiki), with the text "だより" (Newsletter) and "by うらた あい" (by Urata Ai).
- Sketch 5 (Second Row, First):** A circular diagram with the text "豊富な社会経験 から得た気付き" (Insights gained from rich social experience) and "都市场部に響かしている からこそ 気付くこと" (Because it resonates with the Tokyo Metropolitan Department, we can notice it).
- Sketch 6 (Second Row, Second):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "共創" (Co-creation) and "の時代を 迎えている といまます。" (We are welcoming the era of).
- Sketch 7 (Second Row, Third):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "川西郷の馬" (Horse of Kawasaka) and "小説があったと すると、" (If there was a novel, then).
- Sketch 8 (Second Row, Fourth):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "郷の馬" (Horse of the village) and "どんなに ？" (How much?).
- Sketch 9 (Third Row, First):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "川西地域に 住んでいるからこそ 気付くこと" (Because we live in the Kawasaka area, we can notice it) and "田舎ならではの 知識や技能、 よさ" (Knowledge and skills unique to the countryside, good).
- Sketch 10 (Third Row, Second):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "広島市中心部" (Hiroshima City Center) and "おとなチャレンジ" (Adult Challenge) and "というワークショップ ひらかれたそう です。 (県主催) 参加者は 約40名。" (This workshop was held. (County-sponsored) The participants are about 40 people).
- Sketch 11 (Third Row, Third):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "消費者" (Consumer) and "視察者" (Observer) and "そして" (And then).
- Sketch 12 (Third Row, Fourth):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "全国から注目され 視察者 受入が はいまっていきます。" (Attention from all over the country, observation and reception is starting).
- Sketch 13 (Bottom Row, First):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "テーマは「郷の馬」を 盛り上げよう！" (The theme is "Horse of the village" let's boost it!) and "ニ" (Two).
- Sketch 14 (Bottom Row, Second):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "関心を寄せる人々" (People who are interested) and "地域内外の方々" (People inside and outside the region).
- Sketch 15 (Bottom Row, Third):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "川西郷の馬オープン" (Horse of Kawasaka Open) and "地域資源" (Local resources) and "企業資源" (Corporate resources).
- Sketch 16 (Bottom Right):** A diagram showing a person with a speech bubble saying "企業の アイデア" (Corporate idea) and "I地域 言葉" (I-region words).

川西の未来

定住

100歳まで安心して暮らす

現地を見てワークシヨップをされる

地域の方も参加ください

観光

サイクルツーリング

ドローン活用

田舎体験

BMXコース

ドローン練習場

カメラ女子

DIY女子

都市で川西マルシェ

農業

米

小麦

大豆

野菜

果物

畜産

地産地消

イタリア野菜

イタリアン里山ナポリ

イタリアンレストラン

イタリアンパスタ

イタリアンデザート

イタリアンドリンク

イタリアンスイーツ

イタリアンお土産

イタリアンお土産屋さん

イタリアンお土産屋さん

イタリアンお土産屋さん

食

イタリアンレストラン

イタリアンパスタ

イタリアンデザート

イタリアンドリンク

イタリアンスイーツ

イタリアンお土産

イタリアンお土産屋さん

イタリアンお土産屋さん

イタリアンお土産屋さん

商品

アーティストコラボ

開発に参加

イニシエーション

飼育セット

ホタル

イタリアン野菜

イタリアンパスタ

イタリアンデザート

イタリアンドリンク

イタリアンスイーツ

イタリアンお土産

イタリアンお土産屋さん

イタリアンお土産屋さん

イタリアンお土産屋さん

発信

SNS発信

ネットで地域ブランドをヨウシユ

プロモーション動画

ガイドブック

観光

農業

食

商品

定住

自治連この1か月

文芸川西短歌会

自治連の動き（9月10日～10月9日）

9 12～13 郷づくり協議会視察研修（鳥取県日南町・倉吉市）

14 木 ふれあいまつり実行小委員会（19:00～）

17 日 敬老会（石原）

18 月 敬老会（三若・海渡・有原）

21 木 里づくり委員会（19:00～）

10 1 日 敬老会（上田）

広島県総合防災訓練に参加（自主防災会9名）

2 月 かわにし小規模多機能施設運営推進会議（13:00～）

3 火 第3回シルバー学級（14:00～）岡谷良信さん

9 月 東部地区グラウンドゴルフ大会（いきいきランド）

今後の主な日程

10 10 火 第4回常任理事会（19:00～）

12 木 広島県公民館大会に参加（2名）三次きりり

17 火 住民自治組織連合会視察研修（広島市小河内地区）

18 水 シルバー学級（社会見学：日本食研・坊ちゃん劇場）

19～20 全国公民館研究集会参加（1名）高知市

20 金 地域安全推進大会（13:30～）まちづくりセンター

地域づくり懇談会（19:00～）

22 日 衆議院議員選挙

23 月 第4回里づくり委員会（19:00～）

28 土 地域ウォーキング（9:50～）郷の駅周辺コース

29 日 地区内一斉清掃日

31 火 ふれあいまつり各部会（19:00～）

11 6 月 市議会報告・懇談会（19:00～）

郷の駅明りを灯し信号機一基とてなき町は明るむ
夏バテにオクラ・大根たしなめば胃腸すっきりおなかしっかり
目覚めれば駐在さんから頂きし朝顔のたね見事咲きおり
秋野菜種蒔く時は風さやか夏の暑さはまだまだ続く
盆仕度仏間の暦は春の野に先祖の写真見つめおるなり
美味しいと言葉掛けられ先輩の苦勞を思い守りし味を

岡崎明治
上野正人
平越義昭
三原雅子
堂本静香
浅敷みすえ

お礼

ご厚志ありがとうございます。
紙面をお借りしお礼申し上げます。

（平成29年9月10日～10月9日）

香典返しとして

金一封 上田町 鎌元朝子様
金一封 有原町 松田哲明様
金一封 石原町 段田貴昭様
金一封 上田町 平実夫様
見舞い返しとして
金一封 石原町 大鎗敦子様

川西地区社会福祉協議会

あとがきに変えて

先日ある会議で洋式トイレの使い方が話題になった。特に男性の小さいほうである。使用後の便器周辺の掃除が大変なのである。若き世代では、座ってすることが定着しつつあるが、年配層はそうもいかない。洋式トイレの普及とともに新たな課題が生まれたのである。自分で掃除すれば問題も少ないだろうが、誰が掃除をするのか？